

〈入試科目の見方〉

公募推薦入試のみ受験の場合は、各入試科目の「公募推薦」の欄についている◎が受験科目になります。また、公募推薦入試と給費生入試を同時出願する場合は「給費生」の欄の◎が受験科目になります。

音楽療法コース

試験科目	内容	注記	A O	給 費 生	公 募 推 薦	一 般 期	一 般 後 期
1 主科に関わる課題	<p>A. 以下の(1)および(2)の両方を受験する</p> <p>(1) 音楽実技 以下の(a)および(b)の両方を演奏する</p> <p>(a) 歌唱 日本語（訳詞を含む）による自由曲1曲。</p> <p>(b) 器楽演奏 任意の楽器による自由曲1曲。使用楽器は、器楽学科に設けているコースの楽器から任意に選ぶ。</p> <p>① ピアノで受験の場合…自由曲1曲。ジャンル、難易度は問わない</p> <p>② 弦・管・打楽器で受験の場合…「弦・管・打楽器コース」の楽器から1つを選択。任意の独奏曲または練習曲1曲を演奏する</p> <p>③ 電子オルガンで受験の場合…注記を参照のこと。</p> <p>(2) 小論文 表現力や自分の考えをまとめる能力と、音楽に対する関心度をみる（800字程度、60分）</p>	<p>※音楽実技に関して。</p> <p>(a)歌唱については、自由曲の楽譜を出願時に提出すること。ピアノ伴奏は大学側で準備する。暗譜でなくてもよい。</p> <p>(b)器楽演奏については、ピアノ、オルガン、電子オルガン、大型楽器以外の楽器は、各自持参すること。受験曲の演奏には伴奏をつけない。</p> <p>①ピアノの場合、繰り返しなし。暗譜でなくてもよい。</p> <p>②弦・管・打楽器の場合、暗譜でなくてもよい。</p> <p>③電子オルガンの場合、使用機種は以下の中から出願の際に選択する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・YAMAHA ELS-01C ・YAMAHA EL-900m ・KAWAI DT9 ・KAWAI DT7 ・Roland AT-900C ・Roland AT-80S <p>データメディアは音色およびシーケンス用データとしてのみ使用可。自動演奏は不可。</p>	◎	◎	◎	◎	◎
	<p>B. 以下を受験する</p> <p>音楽実技 以下の(a)および(b)の両方を演奏する</p> <p>(a) 歌唱 日本語（訳詞を含む）による自由曲1曲。</p> <p>(b) 器楽演奏 任意の楽器による自由曲1曲。使用楽器は、器楽学科に設けているコースの楽器から任意に選ぶ。</p> <p>① ピアノで受験の場合…自由曲1曲。ジャンル、難易度は問わない</p> <p>② 弦・管・打楽器で受験の場合…「弦・管・打楽器コース」の楽器から1つを選択。任意の独奏曲または練習曲1曲を演奏する。</p> <p>③ 電子オルガンで受験の場合…注記を参照のこと。</p>	◎					
2 主科面接	複数教員による個別面接	※音楽療法に対する意欲と関心の度合いを重視する。	◎	◎	◎	◎	◎
3 AO面接		※AO面接は主科面接の中で行う。	◎				
4 給費生作文	指定する作曲家のうち一人を選んでその伝記を読み、試験当日に課題作文を書く。(60分) 詳細は●ページに記載。	※伝記は単行本に限り、辞書・辞典類の項目は認めない。当日参照不可。		◎			
5 給費生面接				◎			
6 一般科目	<p>A. 本学で行う以下の一般科目(a)~(c)の中から1科目を選択して受験（45分）</p> <p>(a) 英語（Ⅰ・Ⅱ） (b) 国語（国語総合、国語表現Ⅰ、ただし古文・漢文を除く） (c) 数学Ⅰ</p>					◎	
	<p>B. 大学入試センター試験の成績を利用する</p> <p>以下の(a)~(f)の中から2教科2科目を選択</p> <p>(a) 国語 (b) 地理歴史 (c) 公民 (d) 数学 (e) 理科 (f) 外国語</p>	※「国語」「地歴」「公民」「数学」「理科」「外国語」について3教科・3科目以上受験した場合は、高得点の科目を合否判定に使用。判定の際、各科目毎100点満点に換算。合否判定に使用できる科目の詳細については38ページを参照。					◎

- 作曲コース
- デジタルミュージックコース
- 指揮コース
- サカドフォーコース
- ピアノ演奏家コース
- ピアノ指導者コース
- ピアノ音楽コース
- オルガンコース
- 電子オルガンコース
- 弦響打楽器コース
- ジャズコース
- ポピュラー音楽コース
- 声楽コース
- アートマネジメントコース
- 舞台スタッフコース
- 音楽療法コース
- ミュージカルコース
- バレエコース